

2018年8月1日

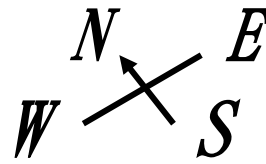
第291号

藤 沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット



主
な
記
事

- ・ 辺野古レポート # 1
- ・ 藤沢の空気を調べよう
- ・ 「被ばく牛と生きる」を観て
- ・ 武田問題対策連絡会への回答

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

TEL/FAX 0466-87-4922

北東アジアに平和と繁栄を！！ —8月15日を迎えるに当たって—

かつて、党首討論で「日本の戦争を侵略戦争だと認定したポツダム宣言の中身を認めるか」と問われ、安倍首相は「我々はポツダム宣言を受諾し敗戦となりました。ポツダム宣言の、日本の戦争の誤りを指摘した箇所については、わたしはつまびらかに読んでないので今ここで答えられない」とポツダム宣言受諾の事実は認めるも、内容よく知らないと逃げた(2015.5.20)。

日本が再出発することになった『基本文書』である。日本人全員が戦後史の大前提条件の一つとして共通認識を持っておくべき文書であり、この宣言を受け入れることによって連合国との戦争は終結した。

8月15日を迎えるに当たって改めて読み直してみた。

全文は13項目からなり、13項で、「日本国政府が直ちに全ての日本国軍隊の無条件降伏を宣言すること」、つまり日本に対し無条件降伏を勧告した。

また、降伏の条件として、軍国主義勢力の排除(日本国民を欺瞞し、侵略戦争を企てることを可能にする権力及び勢力の永久除去)、一定期間の占領、カイロ宣言の履行による植民地の返還と領土の制限、軍隊の武装解除、戦争犯罪の処罰、民主主義と言論・宗教・思想の自由、基本的人権の尊重の確立などをあげた。正文は英語で、ポツダム宣言全13項の公式の訳文は外務省の仮訳のままである。

6月12日に史上初の米朝首脳会談が実現し、これまで数十年も続いた「戦争と対決」(昨年秋には一触即発の危機)から朝鮮半島に新しい可能性が生まれ、新しい米朝関係が始まった。朝鮮戦争は休戦中だが、戦争は終結していない。非核化のためには、先ずは、朝鮮戦争の終結が必要である。

日本の場合では、8月14日ポツダム宣言受諾、8月15日国民への詔書発表(玉音放送)から9月2日の休戦協定(降伏文書)の調印で外交文書として確定した。

北朝鮮がアメリカに無条件降伏をしたわけではない今回のケース(核兵器を所有する両国の首脳が非核化を決意した)は、もっと時間がかかるであろう。人類史に新しいページを開く(緊張と敵対を乗り越える新たな未来を築く)重要な出来事である。北東アジアにおける根本的变化を生むかも知れない。即ち、国家間の問題を武力によらず外交努力によって解決するという日本国憲法に精神に合致するものである。従って、日本の国民及び政府はもっと積極的に関わることが求められている。(宮地俊作)



里山公園を歩く福島の子どもたち

「被ばく牛と生きる」を見て

久し振りに元出版社で同僚だった男から電話があった。弱者の立場に立って誌面を作っていた仲間だったので嬉しくもあり、いそいそと横浜まで電車で出かけた。20年の積みもりつもった話し、当然政権のことから、家族の話までした。最後は福島原発事故関連の映画「被ばく牛と生きる」の話になった。

松原保監督と榛葉健プロデューサーは私財をかけ、自分の時間を撮影取材についやした。「福島原発の棄民政策と被ばく牛殺処分」と重たい命のメッセージを世界に届ける。だれのために映画をつくるのか？

殺処分で同意できない畜産農家は12軒から5軒になった。その声に時間をかけて、派手な演出は不用だった。日本政府はこの事故を沖縄の基地と同様に国難と見なさず「過疎地に押し付けること」を考えていた。

原発事故は、起こるべくして起こったのだ。



（被爆牛と世話する人）



（被爆牛が生き続ける牧場）

2時間にも及ぶ仲間との話は尽きることがなかった。別れ際、彼は「牛の殺処分は必要悪だ」と言って握手を求めてきたが、私はためらった。肉牛として売る農家としては、餌代20万円、50頭いけば年間約1000万円はかかる。しかし、家族として世話をすると牛との間に、自然と“愛”が芽生え「殺したくない、生きている間は心を込めて世話をしたい」牛と人間は共に生き物として同等だ。その“愛”は何物にも代えがたい。その愛を政府によって拒絶されたのだ。

立ち入りができるようになって牧場に入ると、飢え死にした牛が骨と皮だけになって、全体で約1000頭分あった。

〈希望の牧場〉吉沢正巳さん300頭の他に日おきに

避難先の二本松から60Kの道を通う元浪江町の町会議員で、原発推進派だった山本幸男さん。また5代続く畜産農家の池田光彦・美貴子夫妻は毎日5Kの道を欠かさず池田牧場に通う。この映画は、生物としての牛と人間の愛に苦しむ悲しいものだった。

（国枝 健）

福島っ子、リフレッシュにやってきた

先ず、ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

天候に恵まれ、案じた熱中症にもならず、病人もなく主催者としては大成功となりました。



第13回目の保養は、7/24-7/27 福島からの26人が存分に遊ぶことができました。

慶応大学での宿泊は初めての場所で平屋で明るく快

適でした。幼児が8人と小学生は1～4年生、今までとは違った年齢構成でした。いすゞプラザ見学、プール遊び、里山公園ではバーベキュー、田んぼのある里山でトンボやバッタを見つけ、小鳥の鳴き声を聞きながら歩き、ローラー滑り台や遊具で遊びました。宿泊の室内ではけん玉やスイカ割り等、満足できたようです。

感想を紹介します。初めての参加で不安もありましたが、ここまでリフレッシュできたのは初めてだったので申し込んでよかったです。



バーベキューを楽しみました

娘は「帰りたくない、〇〇ちゃんともう会えないの？」と半分泣いていました。とても楽しい思い出になったと思います。いろいろ子どものこと考えて下さり、子どもも楽しかった、また泊まりたい、もう一泊したいと言うほど充実したみたいです。自分もリフレッシュできたけど子どもが一番楽しんで笑顔が素敵だったからまた参加し、子どもを思いっきり遊ばせたい。（kさん）

（福島の子どもたちとともに・湘南の会 荒井かつ子）

武田問題対策連絡会への回答

7月11日、藤沢市環境保全課神山課長と武田問題対策連絡会4人が会合し、質問書への回答を口頭で受け取りました。概略は以下の通りです。

- ① 動物焼却炉は昨年2017年8月に撤去した。委託業者の事務所になっているのを、市が2018年3月に確認した。煙突は他の煙突も含み残されている。
- ② 県バイオ指針に基づく武田薬品からの2016年10月の変更届けの中、「病原性ウイルス追加」の申請については、市は、以前と変わったとは考えていない。危険性が増したとは考えていない。
- ③ 研究分野は今まで5分野だったものが、ガンなど3分野をアメリカに移し、2分野（中枢神経系、再生医療）のみになった。規模も3000人から1300人ぐらいに減っている。これからは川崎市の神奈川サイエンスパークと提携予定。
- ④ 2月に藤沢市は立ち入り検査を行い、項目ごとに検査した。
- ⑤ 住民対象のバイオ避難訓練は予定なし。
- ⑥ P3施設は3つ（2つ）あるが、その中でP2の実験をしている。P3実験をする際は市に申請することになっているので、今はP3の実験はしていない。
- ⑦ インベスト神奈川減額については県に聞いて欲しい。市は5年間固定資産税を半額にした。
- ⑧ 湘南研究所から「湘南ヘルスイノベーションパーク」への名称変更を、住民説明会まではしなくとも、各自治会、町内会に回覧するよう、要請したい。
- ⑨ 武田薬品工業湘南研究部門の組織自体も不透明で、他社19社ある全体の組織は不透明。

（共同代表 青柳節子）



藤沢の空気を調べよう

藤沢の空気を考える会で毎年6月と12月にNO₂の簡易測定を行っています。

2017年12月の13地区別測定結果です。

藤沢地区、湘南大庭地区が高く、全体の平均は0.07ppmとなり、環境基準を超えて空気は汚れています。

大気汚染2017年12月地区別集計 12/7.8

	件数	道路沿	件数	非道路沿	合計	平均ppm
片瀬地区	10	0.061	0		10	0.061
鵠沼地区	5	0.085	9	0.023	14	0.045
辻堂地区	6	0.099	7	0.095	13	0.097
村岡地区	5	0.059	15	0.06	20	0.060
藤沢地区	16	0.117	3	0.066	19	0.109
明治地区	8	0.087	2	0.035	10	0.077
善行地区	9	0.06	1	0.052	10	0.059
湘南大庭地区	15	0.113	5	0.064	20	0.101
六会地区	8	0.069	11	0.035	19	0.049
湘南台地区	12	0.057	12	0.054	24	0.056
遠藤地区	2	0.059	8	0.054	10	0.055
長後地区	0		0		0	
御所見地区	5	0.056	7	0.061	12	0.059
全体(平均)	101	0.083	80	0.054	181	0.070

ワースト10

1	藤沢橋	0.303
2	日本精鋳前バス停	0.234
3	辻堂団地歩道橋	0.208
4	城南3丁目5	0.208
5	大庭隧道大庭出口	0.184
6	鵠沼石上1-10	0.184
7	大庭隧道大庭方面中央	0.18
8	大鋸1-1	0.18
9	辻堂団地入口	0.166
10	大庭隧道辻堂方面中央	0.166

辺野古レポート#2



(沖縄本島の数少なくなった造礁サンゴ これが本来のサンゴの姿)

沖縄戦の後、戦災復興で、パイナップル生産のための山地開墾が急速に行われ、大量の赤土が川から海へと流れ込みました。同時に、養豚業も急増し畜舎排水が深刻な水質汚染をもたらしました。

更には、米軍の基地建設、戦車道路建設工事などが追い打ちをかけ沖縄本島では9割以上のサンゴが死滅したとされています。

常緑広葉樹が広がる沖縄本島北部の「やんばるの森」は、本島の生活用水の約6割をも供給するほどの豊富な水資源をもつ「恵の里」。その前には大浦湾“辺野古の海”が広がっています。

新基地建設によって貴重な海が破壊されていき、更には気候変動により大きなダメージを受ける辺野古のサンゴ礁。この現状は、まさに地球が抱える数多くの問題が凝縮された姿ではないかと感じるのです。

そして、これらは太平洋を航海して訪れたマーシャルをはじめとするミクロネシアの国々で見た現実と正に“二重写し”に見えてくるのです。

(武本 匡弘 日本サンゴ礁学会会員)

放射能測定値 (市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$) 地上 50cm

7/19	藤沢市民病院新棟棟内	0.048
7/19	〃 タクシー乗り場	0.058
7/24	慶應大学宿舎内	0.028
7/25	辻堂海浜公園プール	0.044
7/26	里山公園 BBQ 場	0.014
7/26	里山公園園田んぼ付近	0.018

ECONET INFORMATION

▲不戦の誓い 敗戦の日平和行動

歌や踊り 市民のスピーチなど

8月15日(水) 16:00-18:00

辻堂駅北口 2F デッキ

主催 ふじさわ不戦の誓い実行委員会



▲ブルーベリー摘み取り体験

8月31日まで 9:00-12:00 (水)(金)(日)

目久尻川大正橋周辺 参加費 200円

連絡先=090-2738-5225 西山さん

▲「海から見える地球」

講師 武本匡弘さん(プロダイバー)

海の中から見える自然環境の変化などおはなし

9月9日(日) 10:00~12:00

場所=市民会館第2会議室

主催=湘南のなぎさを守る藤沢市民の会

▲藤沢母親大会

9/8(土) 10:00-16:00 資料代 500円

藤沢市民会館 10:00-分科会

映画「ザ・思いやりⅡ」ほか

13:30 全体会 伊藤千尋さん講演

「みんなで憲法を生かす時代に！」

文化行事もあり 保育希望者は連絡を

主催/問合せ 実行委員会 0466-26-1980

▲藤沢エコネットから

◆定例学習会 「地球温暖化問題」

8月4日(土) 10:00-

市民活動推進センター



◆会員募集 年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 ㊦ サイネット

◆事務局会議 8月4日(土) 14:00

市民活動推進センター

《編集後記》今年の夏も原水爆禁止世界大会が広島で始まった。「核兵器のない世界へ」核兵器禁止条約を唯一の被爆国日本が締結を拒む理由はないはず。条約締結を切に望む。そんな広島方面では西日本豪雨での被害が死者 200 人を超え多数、更に台風 12 号のかつてない軌道で襲ったこと、加えて酷暑が続き被災地を思うと心が痛む。地球温暖化による影響がここまで大きな被害をもたらしているのだ。(H)